



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No. 4

七夕・ガイアナイト in オホーツク連携事業

「巨樹・巨木が茂る森林散策会」

— 「古の森」や展望台の森林散策を楽しみました —



当会が3月に設立して初めて主催した「巨樹・巨木が茂る森林散策会」が、天候にも恵まれ、平成20年7月6日(日)に常呂川森林環境保全ふれあいセンター支援のもと、北見市と網走市にまたがる国有林「オホーツクの森」のほぼ中央に位置する「古の森」で開催し、会員22名と一般募集に応募した一般参加者22名、計44名が、初夏の「古の森」や展望台の森林散策を楽しみました。

当日は、会員で森林インストラクターの吉田昭義事務局長と大山重治氏、ふれあいセンターの栄平男自然再生指導官の案内で3班に分れ、各案内人の得意とする説明や語り口により、巨樹・巨木の紹介や、樹木だけでなく草花、鳥などあらゆる生き物が水や土壌と関わりながらバランス良く、まるで森林全体がひとつの生命体のように息づいている様子を観察しながら案内し、会員や一般参加者は自然の素晴らしさや不思議さに魅了されました。

「古の森」散策のあとは、展望台周辺の日陰で、昼食をとり、展望台では網走湖や知床連山などの景色を楽しみ、しらかば十字園に戻って、皆さん満足した様子で記念撮影をして、散策会終了しました。



森林ボランティア活動の準備の様子

オホーツクの会 会長: 鞘師 守

去る8月28日に、オホーツクの森自然再生モデル事業企画運営協議会の集まりに参加してきました。9月21日(日)に予定している、当会が主催する次のボランティア活動、「オホーツクの森づくり」の植樹も検討議題の一つでした。

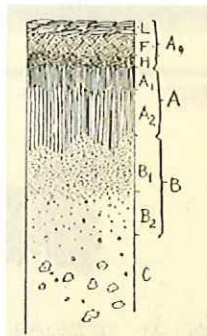
林野庁の森林管理署・ふれあいセンター・北林会(OBの会)、網走支庁、北見市、オホーツク森の案内友の会、などが集まり、オホーツクの森にある「森の家」での打ち合わせと現地視察にたっぷり2時間を掛け、植樹の場所ややり方などを議論しました。私達の活動は、多くの方々に支えられて成り立っていることを肌身で感じました。

徐々にでも会として独り立ちして行きたいものだと思います。皆様のご協力をよろしく願います。21日の植樹体験も楽しみにしててください。



森の土の観察

森の地下には土があり、これを「森林土壌」といい、地上の生き物全ての生命の源であり図のような姿をしています。
森林土壌の断面（林床に穴を掘りその断面（壁面）を垂直にならしたものの）



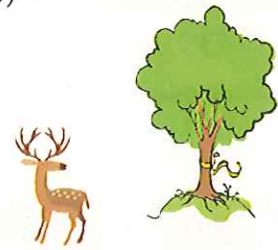
落ち葉やそれらの遺骸の積もった層：エーゼロ層
（有機物のみの層）

黒く見える地表に一番近い層：エー層
（養分の多い層）

その次のやや黒みの弱い層：ビー層
（養分の少ない層）

茶色に見える一番下の層：シー層
（養分のほとんど無い層）

※ 各層とも状況により細分される場合がある。



ドクチャエフは、「土壌とは地殻表面を覆っている岩石の風化^{さいせつぶつ}碎屑物と動植物の分解腐朽物とが混じったもので、生物・母岩・気候・地形・時間の相互作用によって生成する」としています（ロシアの土壌学者）。つまり、土壌は、その場所の自然環境を最もよく現しているのです。

参照文献：森林土壌の調べ方とその性質（昭和50年5月、森林土壌研究会）
：林野土壌のみかた（昭和40年9月、内田丈夫著 北方林業叢書31）

★ 入会手続きがまだお済みでない方へのお願い。

平成20年度分の入会申請書の提出、又は年会費の支払いが済んでいない会員の方へ！。
9月中までに手続きをお願いします。

「2008 森林ウォーク in オホーツクの森」

秋の森林散策が解説付きで行われます。

参加希望の方は、別添パンフ裏面の参加申込書により、各自で申し込んで下さい。事務局は：網走支庁産業振興部林務課主査（みどり） 電話：0152-451-0652

森林づくりの参加者募集！

オホーツクの森づくり9月21日（日）を参加希望の方は、9月12日（金）までに、別紙「オホーツクの森づくり参加者募集のご案内」を見て申し込んで下さい。

「森林のつとめ 2008 育樹祭」の参加者募集！

参加希望の方は、別添パンフ裏面の参加申込書により、各自で申し込んで下さい。

お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内

森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日 8:15から12:00、13:00~17:15

